

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

2018年3月第427号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>



神様ありがとう

聖ヨハネ会 Sr. 大屋俊子

今年も四旬節が始まりました。新しい心で復活祭を迎えることができるように「祈りと断食、慈善をもって回心しなさい。心を清めなさい」と四旬節の悔い改めの期間が定められています。私たちは毎年四旬節になると教会の勧めに従って自分でできる回心の業を行ってきました。

主は私たちのために、ひとつ残らず全ての苦しみを絶え忍ばれました。

さらに主は「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」(ルカ23:34)と、私たちをかばってくださいます。このように慈しみ深い主のもとに帰るために清い心になりたいのです。やさしい神様は決して私たちに難しいことは要求なさいません。身近なこと、小さなことから見てみましょう。

人の悪口を言わない、噂話をしない、回りの困っている人に心を向ける、声をかける等々です。なんだこんなことと思えるこれらのことを毎日行っていると、自分の心も豊かになるし、回りの人達も平和になってくるものです。教会の三つの勧め「祈り・断食・慈善」の業も行いやすくなるでしょう。

何か辛いことがあると、どうしても「なぜ私ばかり・・・」と不平の心が起こり勝ちです。けれども、これほどまで私たちを愛しておられる主が試練をくださる時、負えないほどの荷はくささいません。

私は今年の四旬節半ばに骨折して入院しました。骨折部位が悪く神経も切れたからでしょう。手術が終わり、「骨の付きは順調です」と言われましたが、左足は全く動きませんでした。左足全体の痛みと、まったく動けないこと、食欲のないことは「四旬節のお償いにお捧げします」と我慢していました。復活節の2週を過ぎた夜半に、麻痺した左足の趾先の一部が動かせる気がして目が覚めました。麻痺した足に神様から力がいただけたことを感じました。たいへん嬉しかったです。

主のために働きたいので回復のための力をくださいと、今迄以上に祈りました。感謝のうちにリハビリを続けました。そして今日の私があります。全く歩けなくなって、初めてひとりで歩け

ることがどんなに素晴らしいかがわかりました、元気であるのが当たり前と、感謝することも忘れていた自分を反省しています。

神様は、あれほどの辛さをもって私の心の目を開かせてくださいました。清い心で主を迎えることができるよう復活祭準備を続けて行きたいと思っています。

神よ、わたしを憐れんでください、御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐってください。

わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。

(詩編 51:3~4)



第 37 回横浜教区典礼研修会

東海林 義夫

2月12日(月)藤沢教会で「教会共同体の中で段階的に育まれる入信の道」をテーマに

午前、午後に渡り講師の久我純彦神父様(教区典礼委員長)が分かり易く講話して下さいました。

初めに「現在社会にあって教会は、今単に教えを伝えるという独りでもでき得るような宣教のかたちから、キリストの命の交わりを証しするという共同体をもってしかできない宣教のあり方への転換が求められている・・・」

- I. 養成は「教会共同体の中で」行われる。
- II. そのプロセスは「段階的に」行われる。
- III. 「入信の道」は全人的養成であって知的養成に留まるものではない。

横浜教区では、入信志願式を四旬節第1主日の午後、教区長梅村昌弘司教司式のもと、藤沢教会においてみことばの祭儀の形で行われます。これに与れない場合は四旬節第2主日が予備日になっているので、所属する小教区の主日のミサの中で行うことができます。

横浜教区では、遠隔地の司祭の便宜を考えて聖水曜日午前11時、山手の司教座聖堂において、「聖香油のミサ」を捧げています。このミサの中で「司祭の約束の更新」が行われます。

「復活の聖なる徹夜祭」のなかでも、入信の秘跡の典礼に続いて「洗礼の約束の更新」が行われます。

司祭も信徒もそれぞれ約束の更新をする事によって、自分の信仰を強め又、新たに入信する人々を教会共同体として心を込めて迎える事ができるようになります。

教会は、入信者を代父、代母だけの関わりとせず、教会共同体として暖かく迎え入れましょう。代父、代母は1人だけにこだわらずに、何人でも皆で見守りましょう。と言うお話が心に響きました。

最後に岡野神父様の主司式でミサが行われ、派遣の歌「ごらんよ空の鳥」で閉会となりました。

私たち夫婦とヨハネ会のシスター工藤と時田4人で参加しましたが、帰りの車の中では、研修会の話の思い出しながら、信仰への意識が強められ参加出来た事に感謝しながら帰路につきました。

新年会に参加して

ゲオロギウス 佐藤 篤

去る2月2日（金）に行われた新年会に集って参りました。普段教会活動はおろか、ミサにもあまり積極的に与っておらず、どこか負い目を感じていた私です。教会活動に少しでも関わっていかうと思っていたところ、昨年新年会に参加している妻から参加を勧められ、皆さまと少しでもお近づきになればとの思いから参加させていただきました。

新年会は教会コミュニティーを強化するための一つの手段と考えています。教会コミュニティーという言葉が適切かどうかは分かりませんが、信仰を同じにして教会に集う人々の共同体という意味で使わせていただきます。共同体ですから相互扶助、様々な意味で苦しんでいる時、お互いに助け合うことが大切なのだらうと思います。そのためには、日頃から接することでお互いの人と成りを知ることが大切なことだらうと思います。そう言った意味で、今回の新年会は、普段の会話から垣間見ることの出来ない、参加された方々の素晴らしさに触れることができました。

過去の仕事での苦しみに苛まれつつも地元ネタで会話を盛り上げて下さった方、キリスト教布教の歴史研究に関する造詣の深さを披露していただいた方、神父様と教会に対する熱い思いを語られた方。などなど、普段聞くことが出来ない話を聞いたことに加え、和食のお店の料理が絶品であり、好きなワインも堪能出来、とても有意義な時間を過ごすことができました。やはり（ほどほどの）お酒はコミュニケーションを助けてくれる素敵なツールです。ただお酒を飲んで上司の悪口を言ったり、仕事の愚痴を言ったりする飲み会（そういった会もストレス発散の観点では必要ですが…）とは趣を異にした会となりました。新年会を通じて教会コミュニケーションの末席に名を連ねる事が出来たものと感じて居ります。



私たちは、家庭、町内会、職場、学校、ママ友、趣味のサークル等、社会の様々なコミュニティーに属しており、教会もその一つで、とても大切なものです。私達夫婦は仕事の都合上2～3

年で転勤し、北は北海道の札幌から南は九州の熊本へと転々としてきました。引っ越しの都度、新たなコミュニティーに属し、その中で関係を構築しなくてはなりません。職場では上司・部下・同僚の関係が明確であり、業務上の必要性からも環境に溶け込むことは容易です。しかし、日本各地のそれぞれ異なる風俗習慣、信仰の違い、年齢差からくる価値観の相違、よそ者を排除する地域があったりで、引っ越し先のコミュニティーに溶け込むことは容易なことではありません。それでも教会は、私達夫婦の拠り所としてのコミュニティーとして、いつも暖かく迎え入れてくれました。それは信仰という人間の精神を形成する骨幹となる価値観を共有している場だからこそだと思います。

教会に集う方々は皆、素晴らしい方ばかりで、皆さまから発する一言一言に私達夫婦はいつも感銘を受けております。私達夫婦も、これからはいつも支えられるばかりでなく、少しでも他の方のお役に立てればとの思いで教会に集って参りたいと思う所存ですので、引き続き御指導宜しくお願い致します。

教会委員会記録

2月4日 15名参加

1. 2～3月の典礼について（こよみ参照）
2. 2月の聖歌練習 2月17日（土）
3. 3月25日（日）フードバンク締切日
4. 財務より平成29年度決算報告
 - ・平成29年12月末、信徒数310名（洗礼3、逝去2、転入2、籍起こし1名）
 - ・信徒の皆様のご協力により、「月定献金」「ミサ献金」とも微増で推移。支出においても、細かな努力により、概ね予算内に納まる。
 - ・「修繕積立金」については伸び悩む。今後の聖堂メンテナンスにまとまった金額が必要となる中、将来を見据えた積み立てが難しい状況。
 - ・「外壁等の聖堂大規模修繕」について。リフォームの方法など色々なことが考えられる。「虫食い」「外壁の破損」など既に問題が出ている。別に委員会を設け、複数の業者に相見積りをとるなどして、将来を見据えた具体的な修繕のあり方を検討する。
 - ・「水道光熱費」に関しては、昨年度堅調に推移。決算の具体的な数字等、「教会議事録ファイル」に資料を綴じ込んでありますので、ご覧いただきたい。
5. こびっとプロジェクト
 - ・3月3日（土）東日本被災地支援講演会 甲府教会・サンタルチア講堂 13：30
 - ・5月11日（金）～13日（日）被災地巡礼・参加者募集中
6. 典礼大会について
 - ・2月12日（月）藤沢教会にて、参加者は東海林夫妻・ヨハネ会 Sr. 工藤・Sr. 時田
7. 2017年度、第4回山梨地区宣教司牧委員会に向けて（3部門から）
 - ・2月18日（日）13：30～甲府教会にて、出席者は委員長・両副委員長・Sr. 里脇
8. 2018年度の活動について

- ・四旬節黙想会の準備 サレジオ会管区長 山野内倫昭神父様
- ・6月17日(日)堅信式 梅村司教様 具体的な準備内容は次回検討する

9. その他

- ・おとずれの巻頭文について、森田神父様の体調を考慮し委員長・副委員長・聖ヨハネ会・サレジアン・シスターズのご協力をお願いする

2018年四旬節 教皇メッセージ
「不法がはびこるので、多くの人の愛が冷える」(マタイ 24:12)
～四旬節愛の献金のご案内～



私たちが生きている世界は今、神から与えられた賜物である「いのち」を危機にさらしています。教会の伝統は私たちに、四旬節において「祈りと節制と愛の業」という三点をもって、信仰を見つめなおすように求めています。この四十日の間、犠牲の心をもって献金にご協力くださり、教会の愛の業とともに参加してください。一緒に神からの賜物である命を守りましょう。(カリタスジャパン四旬節「愛の献金」趣意書より抜粋)

期間中「四旬節献金箱」にいただいた献金は、全額カリタスジャパンに送金し、国内外において多くの命を守る活動のため、お使いいただきます。多くのご協力をお願いいたします。

(愛を証しする力を育てる共同体チーム、財務)

こよみ



3月

- 4日 (日) 四旬節第3主日 十字架の道行き 9:00 ミサ9:30 教会委員会
 婦人部会・復活祭の打ち合わせ
 (聖堂清掃は河口湖・都留地区)
- 10日 (土) 聖歌練習
- 11日 (日) 四旬節第4主日 十字架の道行き 9:00 子供と共に捧げるミサ9:30
 (聖堂清掃は日曜学校・河口湖・吉田地区)
- 14日 (水) 手芸会 9:30
- 17日 (土) 小さき花幼稚園 卒園式
 日本の信徒発見の聖母(祝日)
- 18日 (日) 四旬節第5主日 十字架の道行き 9:00 国際ミサ9:30
 四旬節黙想会: サレジオ会管区長 山野内倫昭神父様
 (聖堂掃除はインターナショナル・山中・忍野地区)
- 19日 (月) 聖ヨセフ(祭日)
- 25日 (日) 受難の主日(枝の主日) ミサ9:30 世界青年の日
 (聖堂掃除は吉田地区)
- 29日 (木) 聖木曜日(主の晩餐) ミサ18:30
- 30日 (金) 聖金曜日(主の受難) 典礼18:30 (大斎・小斎)
- 31日 (土) 聖土曜日 復活徹夜祭 ミサ18:30
- *****
 イタリア語教室 月曜10:00 (5, 12, 19, 26日)
 日曜学校 3月は11日で終了となります 主日のミサ後~11:40

4月

- 1日 (日) 復活の主日 ミサ9:30 パーティー(リズムホール)

3月のミサ奉仕

月日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	歌伴奏
4	東海林義夫	山本一孝	真彩	福永好雄	江守香代子	堀内千鶴
11	曾根美香	栗原今朝夫	真彩	相沢千代子		シスター
18	東海林美佐子	—	正人	英語	?	シスター
25	東海林美佐子	東海林義夫	天翔	渡辺幹雄	猪俣瞳子	シスター